





第1学年 国語科「登場人物の様子を思い浮かべて読もう ～『あめですよ』～」

授業者 片岡 亜貴子・支援員 内田 珠代

<p>前時までの学び</p>	<p>幼稚園や小学校で行ったごっこ遊びの楽しかった経験を想起し、登場人物の様子や気持ちを考えて声や動きで表現する音読発表会を言語活動として設定しました。前時は、言葉と挿絵を繋いでそれぞれの登場人物の様子や気持ちを捉えた後、場面カードを並び替えながら自分が一番好きな展開について考えました。</p>
<p>〈課題設定以前〉 1 学習課題を確認する。</p>	<p>既習事項等を示しているあめあめボードを用いて単元のゴールを確認した後、前時に考えた自分が一番好きな展開について、友達の考えも聞いてみたいという思いがあったことを想起させて、学習課題を設定しました。</p> <p>友達の考えを聞いたら、もっといい考えが浮かぶかも知らないし、友達の話を聞くのは、楽しいよ。</p> 
<p>学習課題：友達と一緒に、一番好きな『あめですよ』を見付けよう</p>	
<p>〈課題解決中〉 2 自分が一番好きな物語の展開について話し合う。 3 作者が考えた物語の展開について話し合う。 4 自分の考えを再考する。</p>	<p>自分が考えたお話の展開を示しているあめですよシートを並べて友達の考えと見比べることで、互いの考えの共通点や相違点を意識しながら、お話の展開とその展開が好きな理由について話し合うことができました。ペアで交流した後、全体でそれぞれの考えを共有しました。</p> <p>どうしてこの順番にしようと思ったの。</p> <p>僕は、体の大きさがだんだん大きくなる順番にしたよ。</p> <p>その後、筆者はなぜこの展開にしたのかを考える時間を設け、それぞれの場面を比較したり色々な展開の音読を聞き比べたりすることで、教材文の展開のよさを捉えていきました。登場人物の様子だけでなく、音読のリズムにも着目して考えることができました。</p> <p>「大好き」と「嫌い」を交互にすると、音読するときに楽しいよ。</p> <p>女の子は、僕たちと同じ1年生かな。女の子のところが一番楽しい感じがするから、僕はこの順番が好きだな。</p>  
<p>〈課題解決後〉 5 本時の学習を振り返る。</p>	<p>本時の学習を「自分の一番好きな『あめですよ』が見付かったか」「友達と一緒に考えることができたか」の観点で振り返りました。振り返りカードの種類の顔の表情のどれかに○を付けるようにすることで、1年生でも全員が自己評価を行うことができました。</p> <p>自分の一番好きな順番を見付けることができたよ。友達の話もしっかり聞いて、考えることができたよ。</p> 
<p>考察</p>	<p>自分が一番好きな展開を考える活動は1年生でも取り組みやすく、子供たちは自分の考えをもって話し合いができていた。内容の大体を捉えるというねらいに迫るには、もう少し教材文の展開のよさについて深める必要があった。</p>